

審 議 事 項

件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者	
1. 提言等関係					
提案1	提言「東日本大震災からの復興政策の改善についての提言」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと	社会学委員会 委員長	別添1	社会学委員会東日本大震災の被害構造と日本社会の再建の道を探る分科会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。 ※第一部査読	吉原直樹副委員長、山下祐介委員
提案2	提言「地球に生きる素養を身につけよう『地球が好きになる教育の勧め』」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと	地球惑星科学委員会委員長	別添2	地球惑星科学委員会社会貢献分科会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。 ※第三部査読	北里洋委員長
提案3	報告「生命科学の基盤となる統合バイオイメージング科学の研究推進」について日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと	基礎生物学委員会委員長、統合生物学委員会委員長	別添3	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理学分科会において、報告を取りまとめたので、関係機関等に対する報告として、これを外部に公表したいため。 ※第二部査読	曾我部正博委員長、難波啓一副委員長
提案4	報告「オープンデータに関する権利と義務 - 本格的なデータジャーナルに向けて -」について日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと	情報学委員会委員長	別添4	情報学委員会国際サイエンスデータ分科会において、報告を取りまとめたので、関係機関等に対する報告として、これを外部に公表したいため。 ※第三部査読	土居範久委員
提案5	報告「最近の対外的緊張関係の解消と日本における多文化共生の確立に向けて」について日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと	地域研究委員会委員長	別添5～6	地域研究委員会地域研究基盤整備分科会において、報告を取りまとめたので、関係機関等に対する報告として、これを外部に公表したいため。 ※第一部査読 再提案（前回：第195回幹事会）	会長、佐藤部長
2. 国際関係					
提案6	平成26年度代表派遣について、実施計画に基づく10-12月期の会議派遣者を決定すること	会長	別添7(1)	平成26年度代表派遣実施計画に基づき10-12月期の会議派遣者を決定する必要があるため。	春日副会長
提案7	IAP Poverty Eradication Workshop (IAP 貧困撲滅ワークショップ) へ派遣すること	会長	-	IAP Poverty Eradication Workshop (IAP 貧困撲滅ワークショップ) へ派遣したいため。 会議名：IAP Poverty Eradication Workshop (IAP 貧困撲滅ワークショップ) 派遣者：阿部 彩 (連携会員) 期間：平成26年12月3日 (火)～5日 (金) 開催地：マナウス (ブラジル) ※代表派遣会議の追加	春日副会長

3. シンポジウム等

提案8	公開シンポジウム「第3回情報学による未来社会のデザインシンポジウム」	情報学委員会委員長	別添7 (2~5)	主催：日本学術会議情報学委員会環境知能分科会 日時：平成26年12月5日（金）9:30～18:00 場所：東京大学情報学環・福武ホール ※第三部承認	-
提案9	公開シンポジウム「国家レベルの産業競争力強化の取り組み—欧米における生産技術研究開発プロジェクトの動向—」	機械工学委員会委員長	別添7 (6~8)	主催：日本学術会議機械工学委員会生産科学分科会 日時：平成26年12月11日（木）13:00～18:00 場所：東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール ※第三部承認	-
提案10	日本学術会議九州・沖縄地区会議主催 学術講演会「いのちの水と生きる ～熊本から世界へ～」	科学者委員会委員長	別添7 (9)	主催：日本学術会議九州・沖縄地区会議 日時：平成26年11月3日（月）14:00～17:00 場所：ANAクラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ	-
提案11	日本学術会議北海道地区会議主催講演会「高齢化社会の食と医療～心身の健康のために～」	科学者委員会委員長	別添7 (10)	主催：日本学術会議北海道地区会議 日時：平成26年11月14日（金）13:30～17:20 場所：北海道大学学術交流会館小講堂	-
提案12	日本学術会議九州・沖縄地区会議主催学術講演会「高齢化社会を支える—地域医療と福祉テクノロジー—」	科学者委員会委員長	別添7 (11)	主催：日本学術会議九州・沖縄地区会議 日時：平成26年12月3日（水）12:30～17:10 場所：ホルトホール大分2F 講義室	-

4. 後援

提案13	国際会議の後援をすること	会長	-	以下の国際会議について、後援の申請があり、国際委員会において審議を行ったところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。 ①第5回国際ユニヴァーサルデザイン会議2014 in 福島&東京 主催：一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 日時：平成26年11月9日（日）～13日（木） 場所：福島再生可能エネルギー研究所（福島県）、東京国際交流館、日本科学未来館（東京都）ほか 参加予定者数：国外1,000人、国内15,000人、計16,000人 参加予定国数：30ヶ国・地域 申請者：一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 会長 岡本 一雄	会長
------	--------------	----	---	---	----

<p>提案14</p>	<p>国内会議の後援をすること</p>	<p>会長</p>	<p>以下の会議について、後援の申請があり、関係する部に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたため。</p> <p>①平成26年日本獣医師会獣医学術学年次大会 主催者：公益社団法人日本獣医師会 期間：平成27年2月13日（金）～15日（日） 場所：岡山コンベンションセンター、ホテルグランヴィア岡山 申請者：公益社団法人日本獣医師会会長 藏内 勇夫 参加予定者数：約2,500名 審議付託先：第二部</p>	<p>会長</p>
-------------	---------------------	-----------	---	-----------